

東鳴子温泉活性化プロジェクト班

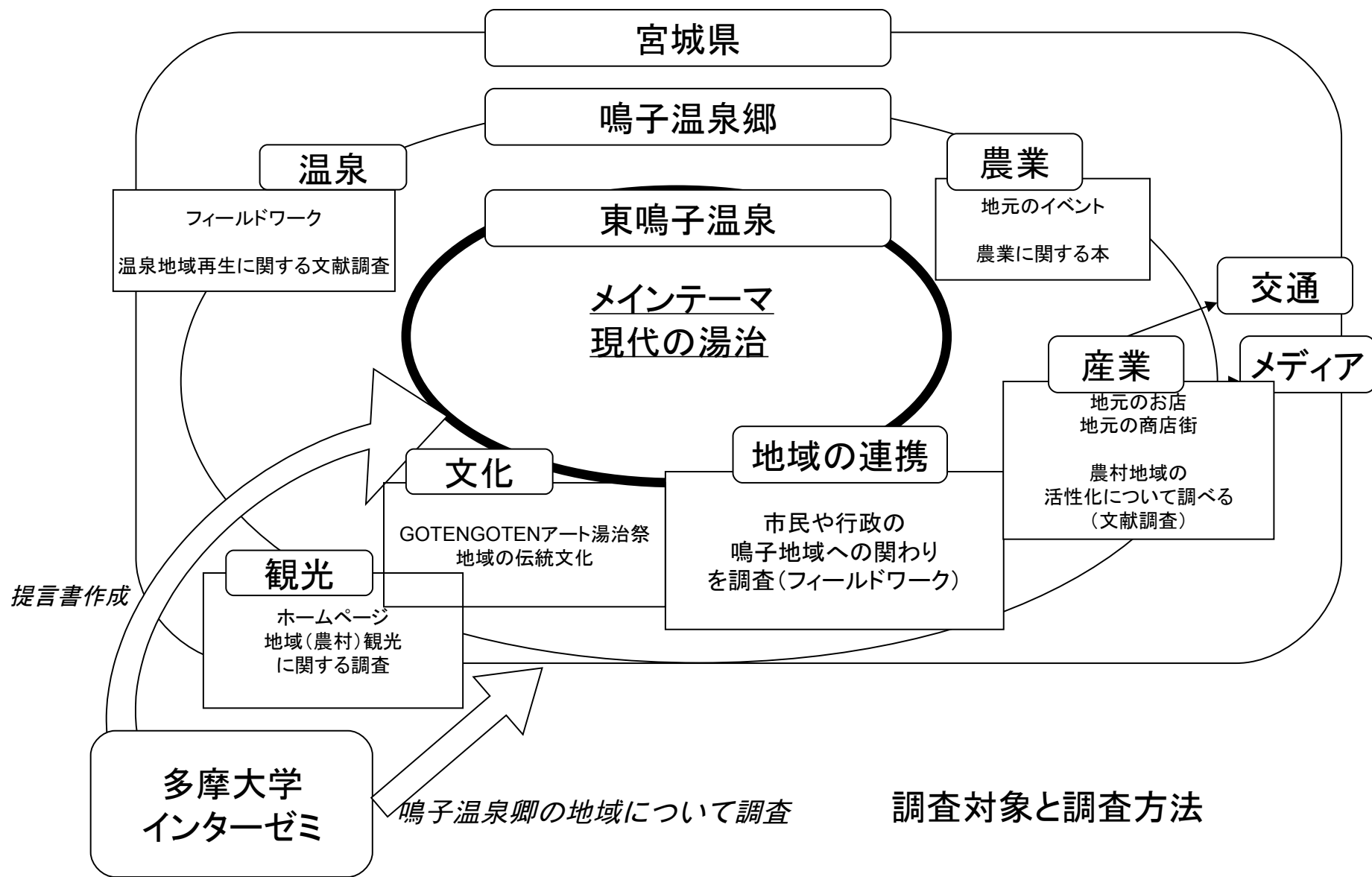
～7月25日前期最終発表～



阿部剛平 宮城和也 山本信子

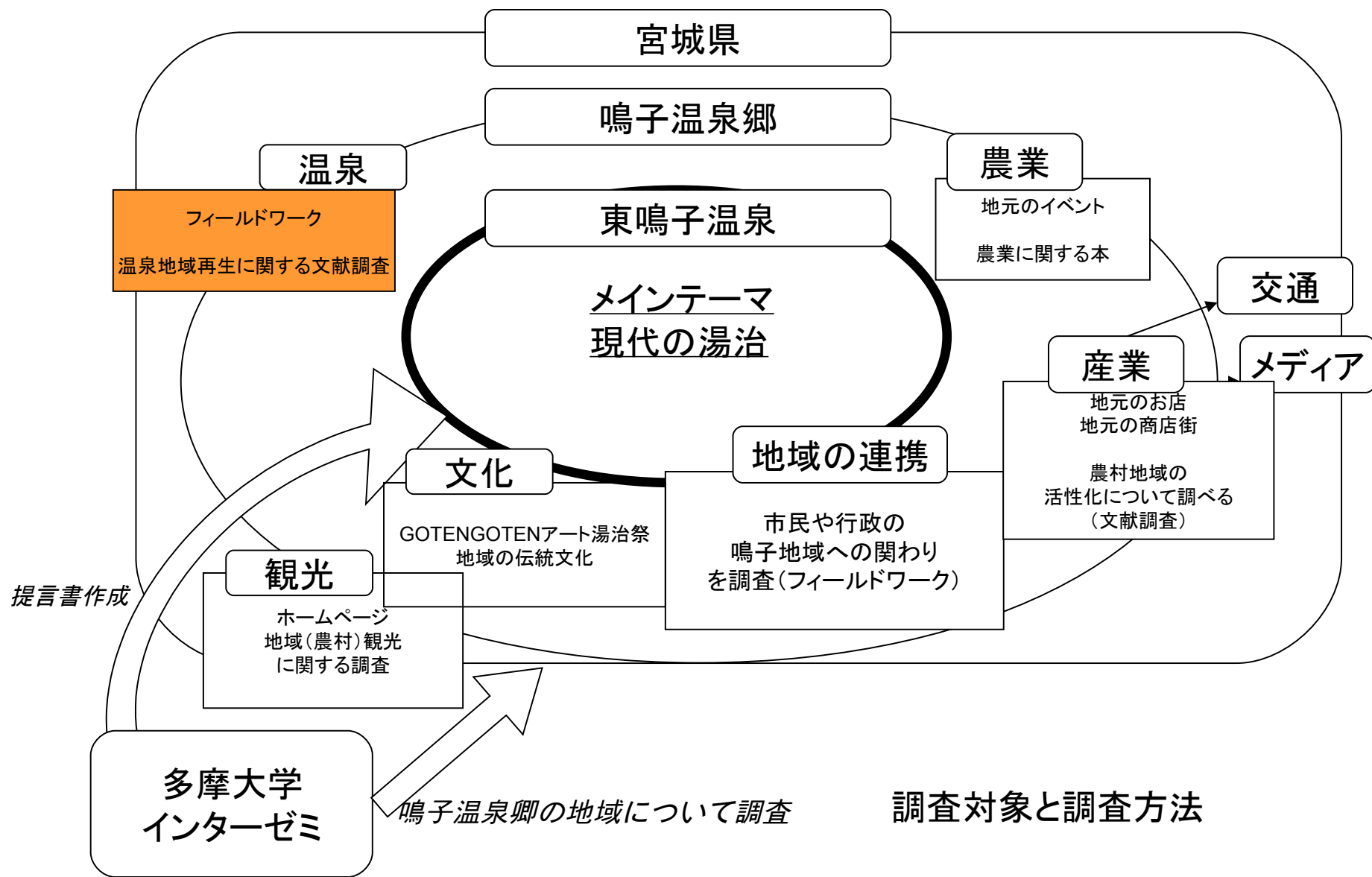


全体像





全体像





前回のまとめ

宮城県 大崎市 鳴子温泉郷

～開湯1100年、5つからなる温泉郷～



日本の源泉11種のうち9種ある

東日本の温泉の横綱

地域再生への取り組み

田んぼ湯治
農×食×湯治

トライク選手権
温泉地から農地を
のんびり散策

現代版湯治入門
湯治宿体験

GOTEN GOTEN
アート祭り
湯治場×アート

(鳴子ツーリズム研究会)

鳴子温泉郷とは

- 宮城県大崎市にある温泉
- 鳴子温泉郷は、鳴子温泉、東鳴子温泉、川渡温泉、中山平温泉、尾の神戸温泉と5つの温泉地域でなりたっている
- 日本にある天然温泉の泉質11種類のうち、9種類が鳴子温泉郷にある
- 奥州三大名湯のうちのひとつ
- 2007年、「旅の手帖」(交通新聞社)による「温泉番付」で「東の横綱」に認定された。

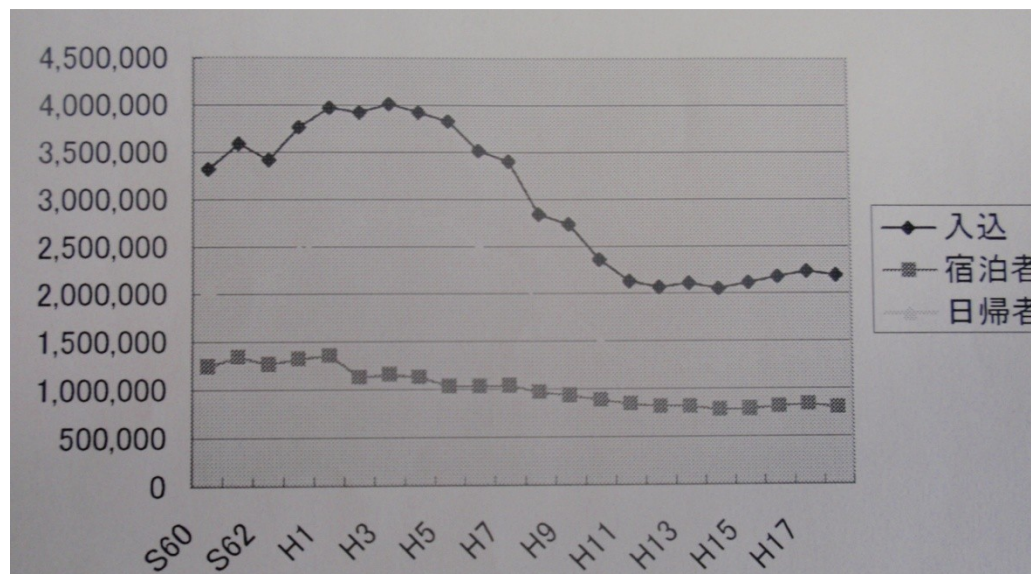
泉質がとても素晴らしく、比較的安価で楽しめる旅行地・慰安地として、昔は栄えていたが、現在は客足が急激に落ち込んでいるという。



背景 客足の減少

平成4年 入込数 約400万人
平成18年入込数 約220万人

10年前の約半分まで減少



原因

- ・景気の低迷
- ・鳴子温泉エリアは山間地域（アクセス悪）
- ・農家の高齢化や遊休農地が急速に増加

従来の市場流通中心の生産振興から新たな振興策が必要













フィールドワーク～東鳴子温泉～

東鳴子にある老舗、旅館大沼の湯守 大沼伸治さんにお話を伺った。

宮城鳴子の湯 旅館大沼 <http://www.ohnuma.co.jp/>

大沼さんは、東鳴子の地域おこしのリーダー的存在。



東鳴子温泉の実態

背景

- ・平成14年以降、ここ5年が客足が急激に落ち込んだ
- ・東鳴子の特徴である湯治客は全体の10%くらいで、ほとんどの方が1泊2食型。
- ・昔の客は、農業・漁業に携わる人々だったが、今は農家は大変なので、湯治にあまり来ない
- ・湯治の期間も短くなっている(昔:約1~2週間 現代:約3日間)
- ・今は泉質ではなく、食事・サービスが重視される風潮

東鳴子の関係図



東鳴子は、PRキャンペーン以前に街として機能していない。

 最近の東鳴子のキャンペーンは、皆で町おこしをしようという軸のもとで活動されている

活動の経緯

2002年
地域づくりの動き
が、芽生える
「現代の湯治場作
り」「御殿場の復活
をもくろむ」

1年間で挫折。
東北地域環境研究
室の志賀氏に
「箱モノをつくる以
前の地域のまとま
りのなさを指摘さ
れる」

2003年春
**東鳴子地区地域づ
くり検討会の設立**
「地域住民間の垣
根を取り払う」「湯
治場・東鳴子温泉
の地域再興を目指
す」

2005年
GOTEN GOTEN アー
ト湯治祭の開催
交流を通じた地域
づくりの集大的イベ
ント

2003年～2004年
多彩なイベント、地
元駅舎リニューアル
竹灯籠「光の盆」や
鳴子御殿湯駅のリ
ニューアル

2003年5月
**東鳴子ゆめ会議の
設立**
検討会の発展・継
承、観光協会や町
内会も巻き込んだ
地域づくり組織

活動の経緯 2

2005年4月
「鳴子ツーリズム研究会」設立

民間主導、様々な
業種が同じ視点に
立ち連携し学び合
い、実践

2005年
三輪自転車トライク
ツーリズムの導入
脱自動車・健康増
進両立
ユニバーサルデザ
イン

田んぼ湯治
湯治と農林業体験
の組み合わせ
田仕事後の湯治
子供の農体験と食
育にもなる

2006年度
**全国過疎地域自立
活性化事例
「総務大臣賞」受賞**

2005年度
**全旅連「人に優し
い地域の宿作り
賞」厚生労働大臣
賞受賞。**

山守り湯治
山仕事後の温泉
児童の総合学習に
も取り組まれる



トライクツーリズム



フィールドワーク～鳴子温泉～

インタビュー： 鳴子温泉観光協会の宮本武さん

鳴子温泉郷観光協会 <http://www.naruko.gr.jp/>

Q 鳴子温泉の弱みは何か？

A 客単価の低さ

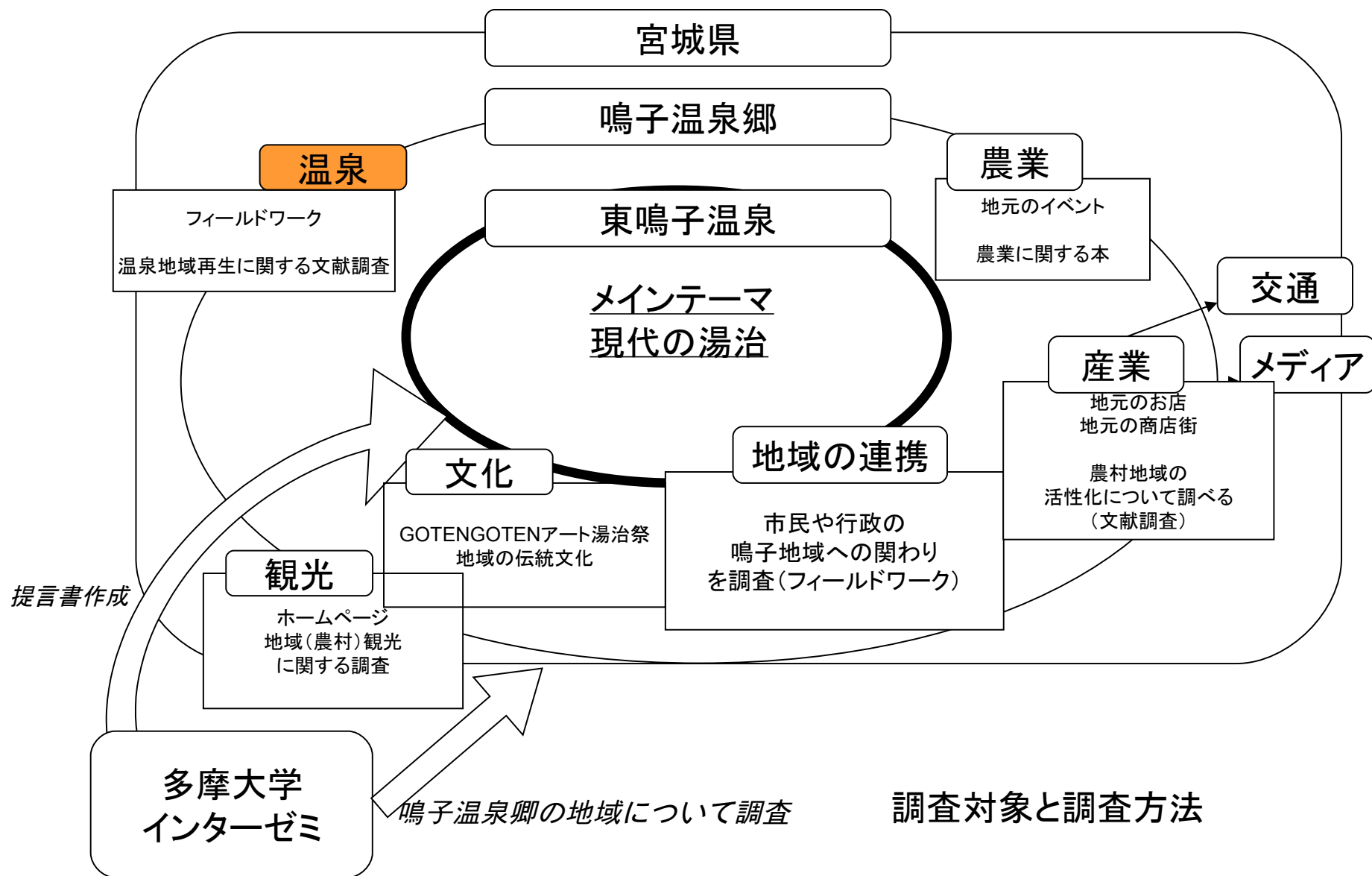
鳴子で作られている高級茶筒が鳴子のお店、
客には売れないため、鳴子では売らずに湯布院温泉で売っている

その他の 問題点

- ・大崎市は市町村合併したため、行政の事務所が多数あり、どこに決定権があるのかが分からない
- ・行政の指揮系統が混乱している
- ・県は補助金は渡すだけという実態
- ・鳴子の人口形態が変わっているのに、その施策がない
- ・街全体が短期的な利益に走ろうとしていて、長期的な展望を持っていない



全体像





鳴子温泉郷にある泉質

単純温泉

効能: 神経痛、リウマチ
骨折、外傷

宿: 姥の湯旅館

重碳酸涙腺(炭酸水素塩泉)

効能: けいれん、炎症、アレルギー性疾患、慢性疾患、じんましん

宿: 鳴子観光ホテル、姥の湯旅館、東川原湯旅館

重曹泉

効能: 皮膚病、火傷、創傷

宿: 姥の湯旅館、西多賀旅館、ホテル滝嶋、鳴子パールホテル、ホテル亀谷、鳴子旅館、旅館弁天閣、河畔の宿紫電峡、旅館すがわら

食塩泉(演歌物泉)

効能: 慢性関節ウマチ、腰痛、神経痛

宿: 吟の庄、ねりまこの宿ますや、鳴子ホテル、登良家旅館、姥の湯旅館、大正館、ホテル扇屋、ファミリーじすい岡崎荘、ホテル滝嶋、鳴子パールホテル、ホテル亀谷、旅館すがわら

硫酸塩泉

効能: 高血圧症

宿: 吟の庄、ゆさや旅館、ねりまこの宿ますや、鳴子観光ホテル、登良家旅館、姥の湯旅館、東河原湯旅館、大正館、ファミリーじすい岡崎荘、西多賀旅館、東多賀の湯、ホテル滝嶋、滝の湯、

明ばん泉

効能: 慢性皮膚疾患

宿: 滝の湯、

緑ばん泉・炭酸塩線

効能: 慢性リウマチ、湿疹

宿: 登良家旅館、姥の湯旅館、大正館、ファミリーじすい岡崎荘、西多賀旅館、東多賀の湯、ホテル滝嶋、滝の湯、

硫黄泉・硫化水素泉(硫黄泉)

効能: 慢性リウマチ、気管支炎

宿: ゆさや旅館、ねりまこの宿ますや、鳴子観光ホテル、登良家旅館、姥の湯旅館、大正館、ファミリーじすい岡崎荘、西多賀旅館、東多賀の湯、ホテル滝嶋、滝の湯、

酸性泉

効能: 慢性皮膚病

宿: 吟の庄、滝の湯、



温泉の定義

松田忠徳 著
知るほどハマル！温泉の科学
技術評論社出版
より

温泉の定義

泉源で採取されたときの温度が
摂氏25度以上

下に上げる物質を一定量以上含む事

溶存物質(ガス性のものを除く) 総量1000mg以上

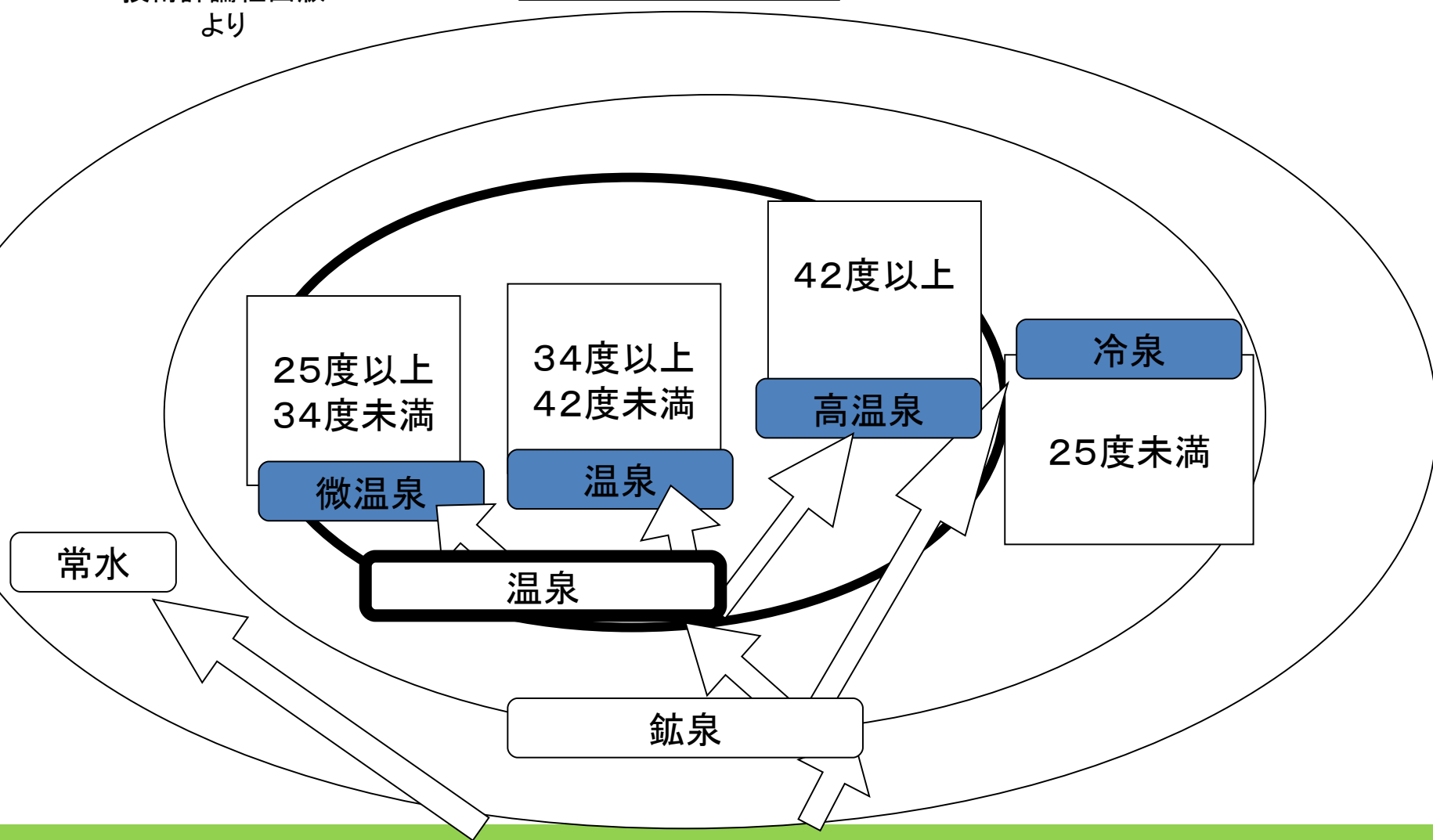
遊離炭酸(CO_2)	250mg以上
リチウムイオン	1mg以上
ストロンチウムイオン	10mg以上
バリウムイオン	5mg以上
フェロ又はフェリイオン	10mg以上
第一マンガンイオン	10mg以上
水素イオン	1mg以上
臭素イオン	5mg以上
沃素イオン	1mg以上
ふっ素イオン	2mg以上
ヒドロヒ酸イオン	1.3mg以上
メタ亜ヒ酸イオン	1.3mg以上
総硫黄	1mg以上
メタほう酸	5mg以上
メタけい酸	50mg以上
重炭酸ソーダ	340mg以上
ラドン	20以上
ラジウム酸	1億分の1mg以上



温泉の種類

松田忠徳 著
知るほどハマル！温泉の科学
技術評論社出版
より

温泉の種類



湯治とは

- ・江戸時代は、人々が温泉地に行く理由は湯治だった。
 - 温泉と言えば湯治を指していた
- ・体温が1度違うと発症率は5～6倍
- ・湯治 1週間で体温が1度上がると言われている
- ・低体温がガンになる
- ・湯治の効果は半年もつ
 - 昔の農家は年2回欠かさずに湯治に行っていた

湯治は予防医学である by温泉博士 松田忠徳

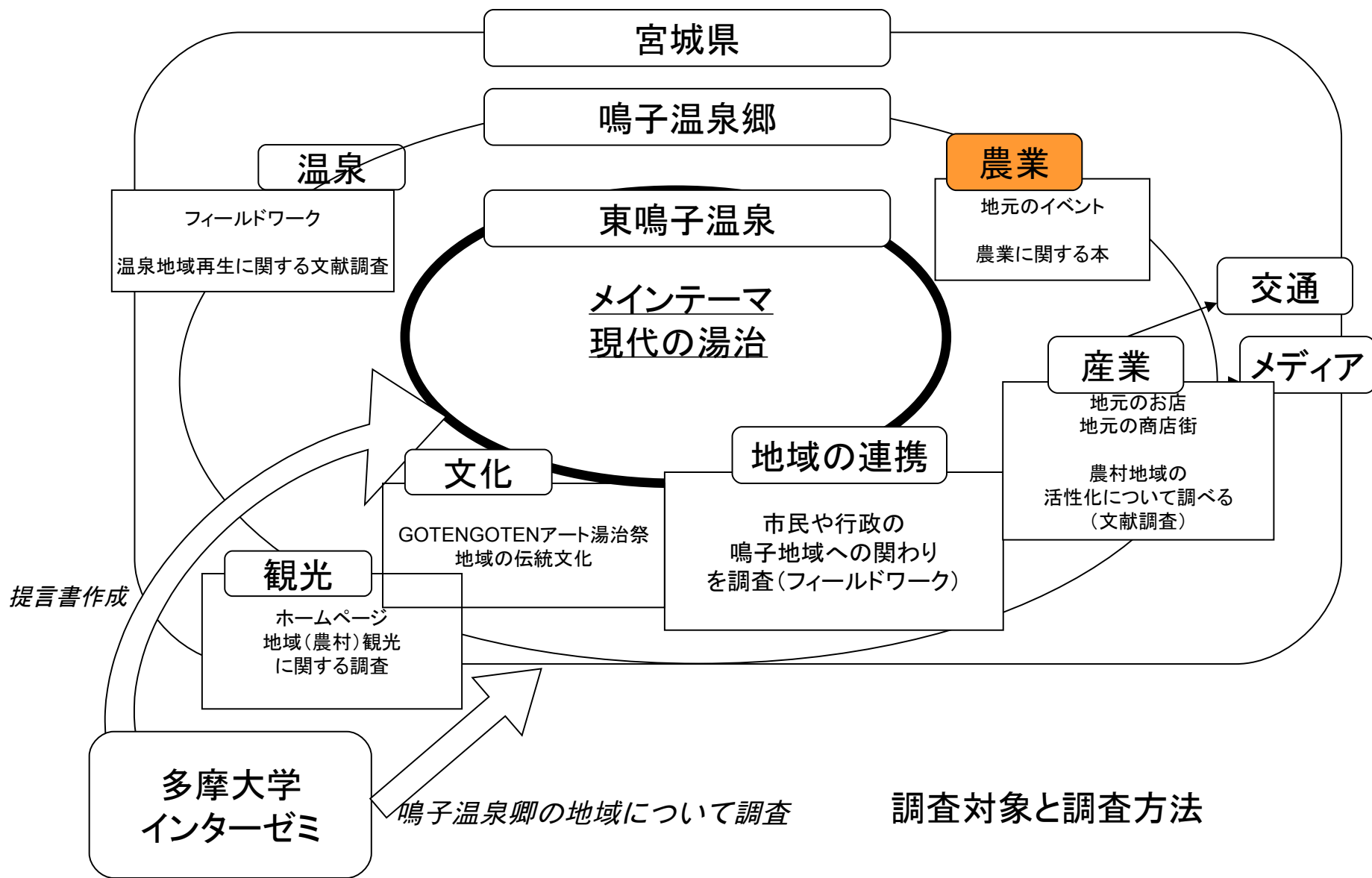
- ・西洋医学は体を治すが温泉は心と体を直す
- ・温泉は心の力を抜く
- ・湯治場では会話とコミュニケーションで心を開く
- ・シャワーは本来汚れを落とすもの
 - シャワーは冷え症の原因

※参考 松田教授の温泉道

湯治は現代に適したものであるといえる



全体像





農業—食料自給率の「なぜ？」

末松広行

食料を安定的に供給するための基礎体力

食料自給率 2008

日本 40%
(東京 1%
宮城 80%)

どうすべきか

日本という「身体」に本来備わっている力(農業資源)をじゅうぶんに活用して基礎体力(自給力)を高めること

イギリスがお手本になる?

1970年 46% **UP**
2003年 70%

現状

低下要因

食糧消費の構造変化
食料消費と農業生産のミスマッチ

農業の機能

水源を涵養
生物の多様性を守る
地球温暖化防止
美しい景観を守る

環境

「フードマイレージ」
「バーチャルウォーター」

世界

バイオ燃料による
穀物需要の増加
輸出規制

これから

農業＝食料

バイオマスを生産する産業

食料以外に、飼料や肥料、エネルギーや新素材にも活用していくべき

新たな活用方法

- ・農業資源の根幹＝水田＝米
米を米粉、米を飼料に
- ・食生活と農業生産のかい離を解決

- 1 渋谷往男(2009)『戦略的農業経営』 日本経済新聞出版社
- 2 末松広行(2008)『食糧自給質の「なぜ？」～どうして低いといきないのか?～』 扶桑社新書
- 3 鳴子温泉郷における湯治客の地域的特性
- 4 構造改革特別区域計画 大崎市
- 5 湯治と農山村の資源を活かした地域再生の取り組み～現代版湯治 鳴子スタイル～
- 6 鳴子温泉郷ツーリズム「鳴子スタイル」(宮城県大崎市)
- 7 温泉地の旅館経営における二つの方向性——<資本力>と<おもてなし>の複合因果に関する計量分析——
- 8 事例①地域におけるものづくり支援機関のあり方に関する調査
- 9 事例②神奈川県森林地域振興調査事業
- 10 事例③大学の地域貢献を考える
- 11 事例④地域活性化における交通コミュニティ増加
- 12 事例⑤赤城村地域産業地場育成
- 13 事例⑥観光を軸とした地域観光産業育成
- 14 事例⑦地域メディアを通じた地域振興
- 15 松田忠徳(2004)『これは温泉ではない』 光文社新書

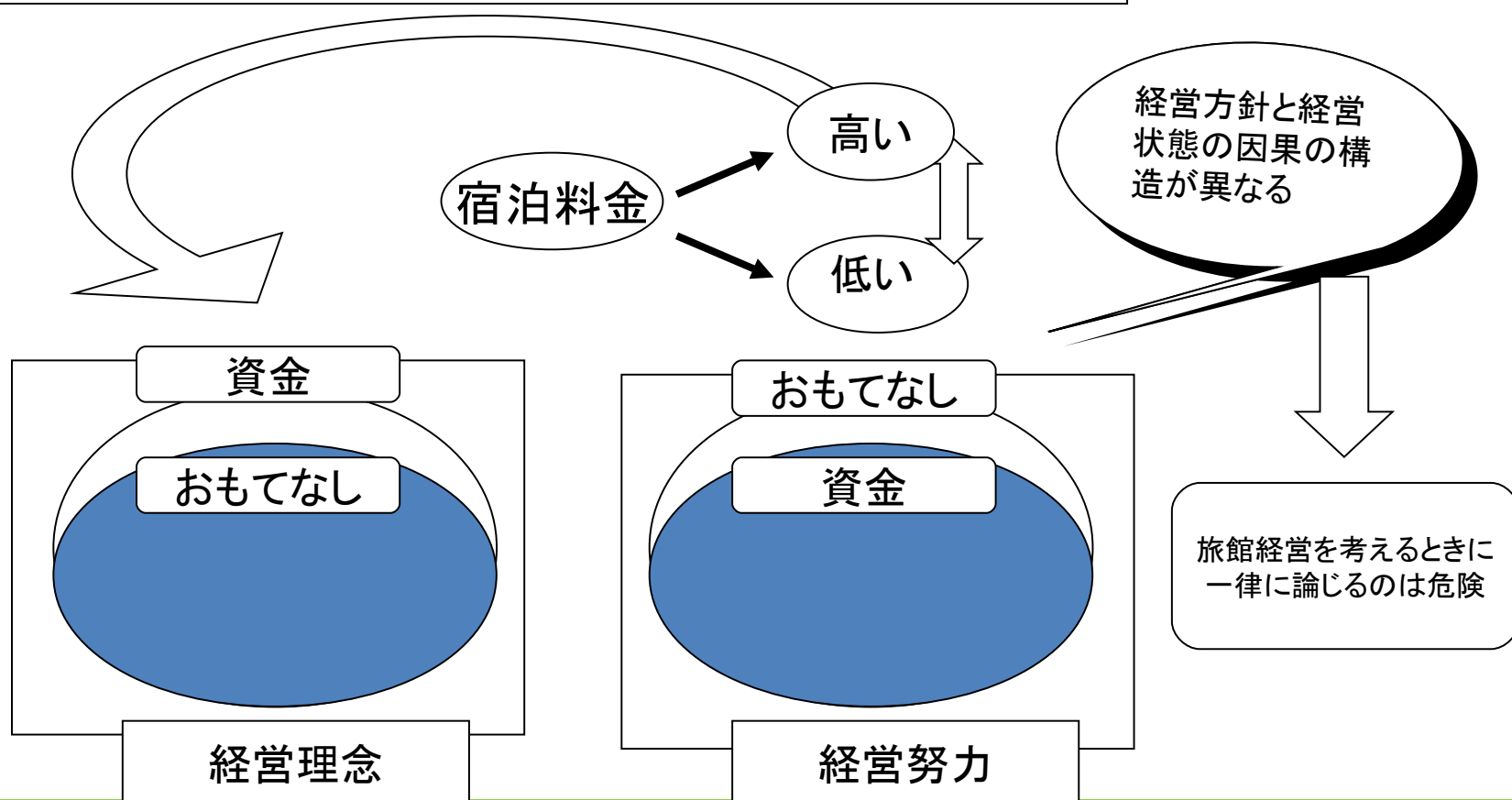


事例

温泉地の旅館経営における二つの方向性

地域活性化研究プロジェクトからの事例 山形大学 地域教育文化学部 金井雅之

温泉地の旅館経営における二つの方向性
ー＜資本力＞と＜おもてなし＞の複合因果に関する計量分析ー



事例 温泉地の旅館経営における二つの方向性

行ったことのある
旅行の種類

行ってみたい
旅行の種類

2004年 10月～2005年9月

一位 温泉観光 20.9%
二位 周遊観光 19.2%

一位 温泉旅行 56.8%
二位 グルメ旅行 47.3%

温泉旅行は日本人にとって
特別の意味を持つのだが
昔から現在のように
なかったのではない

明治⇒大正
休養、保養目的
一般大衆対象

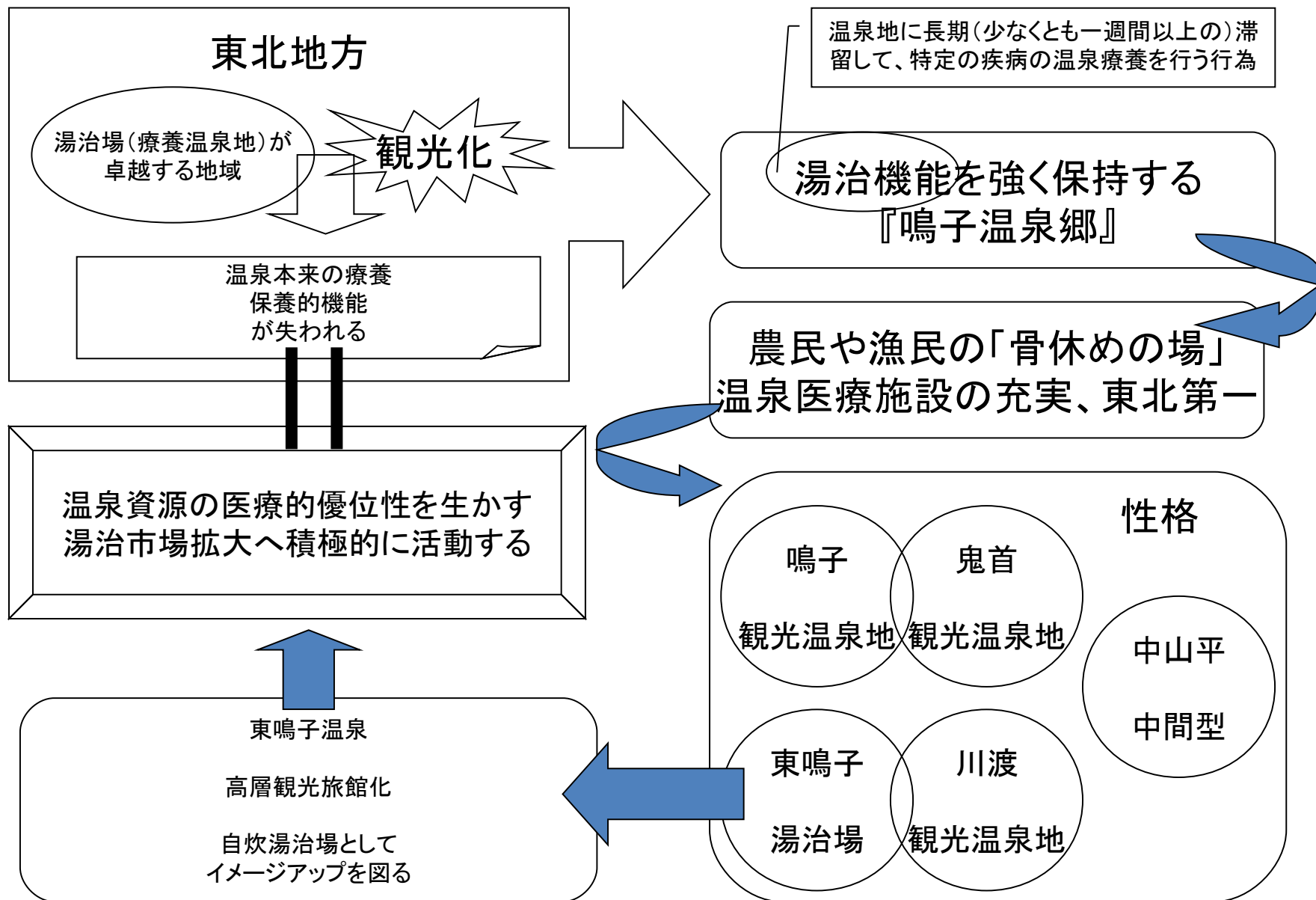
高度経済成長期⇒1970年代
慰安観光目的
企業が対象の大規模な旅館

江戸時代以降の温泉旅行が一般化した
転機が三回ある

バブル経済崩壊後
利用者の価値観の変化
秘湯の価値が高まる
女性がターゲット



鳴子温泉郷における湯治客の地域的特性 山村順次



今後の課題

- ・湯治場のトップクラスと言われている所の調査

東では山形県の肘折温泉、西では山口県の俵山温泉

- ・温泉地で成功している所の調査

大分県の湯布院温泉

- ・農業調査

「東鳴子温泉」と「農業・食の結びつき」



スケジュール

